

かたりべ 59

豊島区立郷土資料館だより

六月廿六日 隣組常会

（月番）（7番）迄

全支本部 外に 隣理事務

一 報見 一月間、報見 行方

二 六月廿七日、町会常会、隣事 三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百

三 其他 庶務 整理上、注意 取組 状態 三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百

以上

六月廿七日 大松 町内（同）午前六時、大松神社、参拝 大松寺

孤府代 十七年 五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百

七月一日 道の隣組常会

（月番）（1番）迄

ラフオニエ ① 町会 ② 町会 ③ 町会 ④ 町会 ⑤ 町会 ⑥ 町会 ⑦ 町会 ⑧ 町会 ⑨ 町会 ⑩ 町会 ⑪ 町会 ⑫ 町会 ⑬ 町会 ⑭ 町会 ⑮ 町会 ⑯ 町会 ⑰ 町会 ⑱ 町会 ⑲ 町会 ⑳ 町会 ㉑ 町会 ㉒ 町会 ㉓ 町会 ㉔ 町会 ㉕ 町会 ㉖ 町会 ㉗ 町会 ㉘ 町会 ㉙ 町会 ㉚ 町会 ㉛ 町会 ㉜ 町会 ㉝ 町会 ㉞ 町会 ㉟ 町会 ㊱ 町会 ㊲ 町会 ㊳ 町会 ㊴ 町会 ㊵ 町会 ㊶ 町会 ㊷ 町会 ㊸ 町会 ㊹ 町会 ㊺ 町会 ㊻ 町会 ㊼ 町会 ㊽ 町会 ㊾ 町会 ㊿ 町会

衛生 大政翼賛会 ① 衛生 ② 衛生 ③ 衛生 ④ 衛生 ⑤ 衛生 ⑥ 衛生 ⑦ 衛生 ⑧ 衛生 ⑨ 衛生 ⑩ 衛生 ⑪ 衛生 ⑫ 衛生 ⑬ 衛生 ⑭ 衛生 ⑮ 衛生 ⑯ 衛生 ⑰ 衛生 ⑱ 衛生 ⑲ 衛生 ⑳ 衛生 ㉑ 衛生 ㉒ 衛生 ㉓ 衛生 ㉔ 衛生 ㉕ 衛生 ㉖ 衛生 ㉗ 衛生 ㉘ 衛生 ㉙ 衛生 ㉚ 衛生 ㉛ 衛生 ㉜ 衛生 ㉝ 衛生 ㉞ 衛生 ㉟ 衛生 ㊱ 衛生 ㊲ 衛生 ㊳ 衛生 ㊴ 衛生 ㊵ 衛生 ㊶ 衛生 ㊷ 衛生 ㊸ 衛生 ㊹ 衛生 ㊺ 衛生 ㊻ 衛生 ㊼ 衛生 ㊽ 衛生 ㊾ 衛生 ㊿ 衛生

のさ 衛生 ① 衛生 ② 衛生 ③ 衛生 ④ 衛生 ⑤ 衛生 ⑥ 衛生 ⑦ 衛生 ⑧ 衛生 ⑨ 衛生 ⑩ 衛生 ⑪ 衛生 ⑫ 衛生 ⑬ 衛生 ⑭ 衛生 ⑮ 衛生 ⑯ 衛生 ⑰ 衛生 ⑱ 衛生 ⑲ 衛生 ⑳ 衛生 ㉑ 衛生 ㉒ 衛生 ㉓ 衛生 ㉔ 衛生 ㉕ 衛生 ㉖ 衛生 ㉗ 衛生 ㉘ 衛生 ㉙ 衛生 ㉚ 衛生 ㉛ 衛生 ㉜ 衛生 ㉝ 衛生 ㉞ 衛生 ㉟ 衛生 ㊱ 衛生 ㊲ 衛生 ㊳ 衛生 ㊴ 衛生 ㊵ 衛生 ㊶ 衛生 ㊷ 衛生 ㊸ 衛生 ㊹ 衛生 ㊺ 衛生 ㊻ 衛生 ㊼ 衛生 ㊽ 衛生 ㊾ 衛生 ㊿ 衛生

若 衛生 ① 衛生 ② 衛生 ③ 衛生 ④ 衛生 ⑤ 衛生 ⑥ 衛生 ⑦ 衛生 ⑧ 衛生 ⑨ 衛生 ⑩ 衛生 ⑪ 衛生 ⑫ 衛生 ⑬ 衛生 ⑭ 衛生 ⑮ 衛生 ⑯ 衛生 ⑰ 衛生 ⑱ 衛生 ⑲ 衛生 ⑳ 衛生 ㉑ 衛生 ㉒ 衛生 ㉓ 衛生 ㉔ 衛生 ㉕ 衛生 ㉖ 衛生 ㉗ 衛生 ㉘ 衛生 ㉙ 衛生 ㉚ 衛生 ㉛ 衛生 ㉜ 衛生 ㉝ 衛生 ㉞ 衛生 ㉟ 衛生 ㊱ 衛生 ㊲ 衛生 ㊳ 衛生 ㊴ 衛生 ㊵ 衛生 ㊶ 衛生 ㊷ 衛生 ㊸ 衛生 ㊹ 衛生 ㊺ 衛生 ㊻ 衛生 ㊼ 衛生 ㊽ 衛生 ㊾ 衛生 ㊿ 衛生

（月番）（1番）（1番）

（月番）（1番）（1番）

（月番）（1番）（1番）

（月番）（1番）（1番）

（月番）（1番）（1番）

ラジオ常会

上の資料は、戦時中の巢鴨2丁目町会第1隣組の日誌です（仁科雅夫氏寄贈）。毎日の活動の様子が丹念に記録されています。

隣組の活動のなかで、重要なものに常会の開催があります。常会とは隣組員全員による会合で、政府や大政翼賛会からの伝達事項を徹底させ、具体化する役割を担っていました。

常会は一月に一回というのが通常でした。ところが上にあるように、六月二十八日（一九四一（昭和十六）年）の常会に続いて七月一日にも臨時常会を開いています。臨時常会の方は「ラジオニヨル」とあるように、ラジオ放送を皆で聞いて、それをもとにして相談をするというものでした。これをラジオ常会といいます。この日のラ

（2頁へ続く）

(1頁より)

ジオ放送は、①開会②禮③宮城遙拝④戦没将士ノ慰靈並ニ出征兵士ノ武運長久ノ祈念⑤講話 近衛大政翼賛会総裁⑥挨拶 石渡事務総長⑦さあ相談を進めませう

中央教化団体聯合会常務幹事古谷敏二氏 となつています。ここまでラジオを聞いた上で「当組ニ於テハ消費ノ解説ノ上出来ル丈不生産的消費ヲツツシムベキコトヲ申合」せたとなつています。⑦のテーマは消費節約だったのでしょうか。

近衛総裁とは近衛文麿のことで、首相と大政翼賛会総裁は同一人物なることになつていたので。こうして政府・翼賛会の意向を直接、国民にラジオで聞かせする仕組みが出来上がっていました。

③の「宮城遙拝」というのは宮城(皇居)の方に向かって礼をする儀式で、天皇が元首であつたことの現れです。常会ではこうした儀式も重んじられました。

この資料は現在開催中の二〇〇〇年度収藏品展「戦時下の区民生活」となりぐみ」で展示しています。「青木」

二〇〇〇年度第一回収蔵資料展
戦時下の区民生活
ーとなりぐみー

この収蔵資料展では、これまでに寄贈提供された町会・隣組関係の資料を中心に、戦争に動員される区民の姿を描くことをテーマにしています。展示は次のコーナーから構成されています。
「となりぐみ」とは

自生的な組織であつた町会が戦時下、一九四〇年九月の内務省訓令などによつて翼賛体制に組み込まれ、戦争遂行のための組織に変つていきます。また、町会の下部組織として隣組がつけられます。お金とモノの動員

膨大な戦費をまかなうため、国民に節約や貯蓄、国債・債券類の購入が強要されました。隣組は、貯蓄や債券購入の実行機関となつて活動します。

配給と「となりぐみ」
戦争によつて、食糧・物資が不足し、配給制や切符制がとられます。町会や隣

組は、その運営の中心的な仕事をするこ
とになります。
空襲と防空

隣組は防空のための単位にもなります。防空演習や防空壕の建設などをおこないません。

「となりぐみ」の再編と廃止

敗戦後、町会・隣組は自主化・民主化による再編成を試みますが、結局、戦後の民主化措置の一つとして廃止されました。(収蔵資料展は九月一六日まで開催)

| | | | |
|------|-----|--------|------|
| 二一〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 初年山本 |
| 二二〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 仁科 坊 |
| 二三〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 二四〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 二五〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 二六〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 二七〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 二八〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 二九〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 三〇〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 三一〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 三二〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 三三〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 三四〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 三五〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 三六〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 三七〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 三八〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 三九〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 四〇〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 四一〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 四二〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 四三〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 四四〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 四五〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 四六〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 四七〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 四八〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 四九〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 五〇〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 五一〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 五二〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 五三〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 五四〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 五五〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 五六〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 五七〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 五八〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 五九〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 六〇〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 六一〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 六二〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 六三〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 六四〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 六五〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 六六〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 六七〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 六八〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 六九〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 七〇〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 七一〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 七二〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 七三〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 七四〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 七五〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 七六〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 七七〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 七八〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 七九〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 八〇〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 八一〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 八二〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 八三〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 八四〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 八五〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 八六〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 八七〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 八八〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 八九〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 九〇〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 九一〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 九二〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 九三〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 九四〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 九五〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 九六〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 九七〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 九八〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 九九〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |
| 一〇〇〇 | 野田町 | 生葉子券二枚 | 野田 坊 |

「事業報告」 休館中には、こんな作業をしていました！

(5月16日～6月11日：休館、6月13日～7月17日：収蔵展示室のみ休館)

◆寄贈される資料にうれしい悲鳴！

当館には、さまざまな資料があります。これらのは多くは区民の方からの寄贈によるものです。資料が到着すると整理をすすめ、そして、保管するという作業をします。一九八四年に当館が誕生して以来、資料(≡財産)が増え、充実してきました。このことは、最初は一か所にしかなかった収蔵庫の数が、区の内外、八か所になったことからわかります。



ローラーのペンキ量が決め手！

どこの収蔵庫にどの資料を所蔵しているか、ひとつひとつの資料の「収蔵品カード(≡資料の来歴、写真、見取り図等を記入)」と所蔵場所を、台帳をもとに照合しました。また、効率よく収蔵するために、資料の形や材質ごとに収めました。まだ、完了してはいませんが、資料の取り出しがしやすくなりました。着物の整理をしていると、毎年虫干しをして家族の着物の管理をしてきた、元の所有者のお顔が目には浮かびます。

◆展示台をリニューアル

資料は、展示台に並べて展示しますが、現在の展示台は、開館以来、ずっと風雪に耐えてきた(？)木製です。そのため、ドック入りの必要が生じました。そこで、展示台の側面をきれいにするため、塗料を塗ることにしました。しかし、資料を展示したままで作業はできません。また、塗料を乾かす時間も必要です。というこ

とから、長期の休館期間を設けました。この間には、資料の燻蒸(害虫駆除・防カビ対策)と、藍瓶(染物屋が使用)の修復という作業も行ないましたが、資料館・博物館という機関の、基本的な作業を見直す機会となりました。



作業空間を広くとり、貴重書の整理も一気にできた

今、展示室に入って明るくなった感じがしますが、それは、この作業の成果です。長期に休館したため、ご不便をおかけいたしました。今後も、みなさまのご来館をお待ちいたします。

「福岡」

藍甕（鉢か）がお色直ししました！愛称を募集しています。

常設展示室にある藍甕がきれいな展示に変わったことにお気づきでしょうか。

やく今年5月に修復が実現し、6月には藍甕の新しい展示台が設置されました。

この藍甕は、江戸後期から昭和戦前期

作業内容は、まず藍甕の内側と底部、

まで目白で藍染を営んでいた大坂屋染物

破損部分にはけで剥落止めを行ないます

店が、一九九三年マンションに建て替え

（写真①）。次に亀裂部分に注射器で慎重に

の際に、店の駐車場から掘り出されたも

重に接着剤を注入します。接着剤が乾燥

のです。口径約77cm、高さ約92cmの常滑

したのち、金属帯で2カ所巻き、崩壊を防ぎ

焼で19世紀前半の製造のものと思われま

す。最後に支柱を立てて藍甕を固定させま

す。8基のうち辛うじて1基が残り当館

破損した大きな穴は、断面の様子がよく

に寄贈されました。翌年特別展で大坂屋

くわかるため、ふさがずに観察できるよ

の寄贈資料とともに紹介し、以後常設展

うにしました。修復で少し若返った藍甕

示してきま

をぜひ見に来てください。【横山】

した。しか

【横山】

し発掘時の

破損した大きな穴は、断面の様子がよく

ひび割れと

くわかるため、ふさがずに観察できるよ

破損が年々

うにしました。修復で少し若返った藍甕

悪化してき

をぜひ見に来てください。【横山】

たため、早

くわかるため、ふさがずに観察できるよ

急に修復す

うにしました。修復で少し若返った藍甕

る必要に迫

をぜひ見に来てください。【横山】

られ、よう



□ 垣網集米後記 □

もうすぐ秋の声が聞こえてくる時期に「かたりべ」59号をお届けすることになりました。

今年の夏は、何年かぶりの猛暑でしたが、それでもこの時期になると、朝晩はいくらか涼しく凌ぎやすくなってきました。

今回は、今年度第一回の収蔵資料展のご紹介をしましたが、もう目の前には第二回の収蔵資料展が迫っております。

今回の収蔵資料展は「寄席と映画館」の娯楽のうつりかわりです。お楽しみに。【伊藤】

か たり べ
（第一版）

No. 59

2000年8月31日発行

印刷／発行
豊島区立郷土資料館

豊島区西池袋2-37-4

☎03-3980-2351